

◆調査概要

調査時期 平成 27 年 6 月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 334 社
回答企業数 327 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	93	88	94.6
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	66	65	98.4
サービス業	52	51	98.0
建設業	60	60	100.0
不動産業	40	40	100.0
合 計	334	327	97.9

◆4月～6月期の概況

～景況感は▲ 8.0 を示し僅かに悪化～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲8.0 を示し、前回調査（平成 27 年 1 月～3 月期）に比べ 0.5 ポイントの悪化となりました。これは、大型連休により生産活動が一時的に弱まった影響や行政側の発注体制が整わない 4～6 月の公共工事の減少、円安による原材料高騰、慢性的な人手不足等が影響していると思われます。また、賃金上昇や夏のボーナスへの期待、株価上昇等が消費者の購買意欲を少しずつ高める動きがあるものの、個人消費はまだ楽観できない状況であり、景気回復に力強さは見受けられません。しかし、先行きには明るい材料もあり、今回の特別調査によると賃上げを実施している企業も約 3 割ある等、今後、中小企業においても賃上げの動きが加速すれば、消費押し上げ効果となり景気回復に繋がると考えられます。今後についても引き続き実質賃金の動向が注視されます。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比 5.5 ポイント悪化の▲5.2、収益実績 D.I. は前回調査比 4.5 ポイント悪化の▲11.6 となっております。また、仕入価格 D.I. は 8.4 ポイント上昇感が弱まり 24.5、資金繰りは 4.2 ポイント改善の▲12.9、人手過不足については 3.9 ポイント不足感が弱まり▲18.1 となっております。

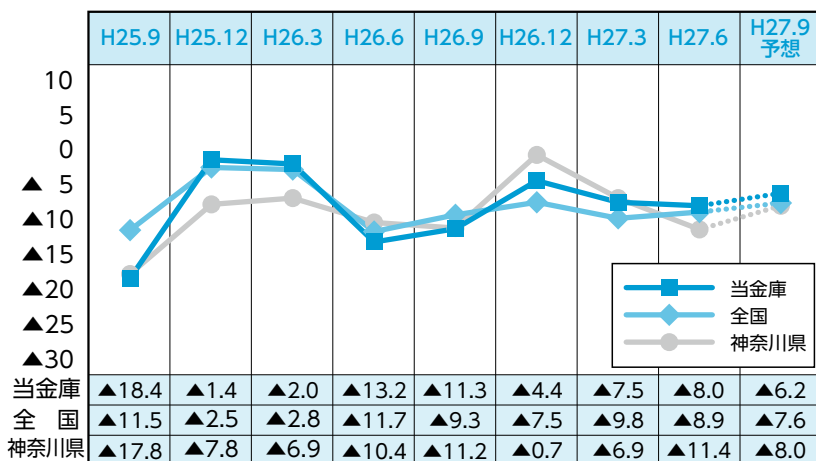
また、業種別の景況感、小売・飲食業が 11.0 ポイント改善の▲20.3、不動産業が 10.4 ポイント改善の▲5.0、サービス業が 2.2 ポイント改善の▲11.8、卸売業が 4.4 ポイント悪化の▲8.7、製造業が 8.0 ポイント悪化の▲2.3、建設業が 10.2 ポイント悪化の▲1.7 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、前回調査から 0.9 ポイント改善の▲8.9、神奈川県内は、4.5 ポイント悪化の▲11.4 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は 1.8 ポイント改善の▲6.2、売上額 D.I. は 12.2 ポイント改善の 7.0、収益 D.I. は 14.6 ポイント改善の 3.0 の予想となり、業種別では、製造業、建設業以外の 4 業種は悪化の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。
D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

製造業の業況判断D.I.は前回調査比8.0ポイント悪化の▲2.3となりました。

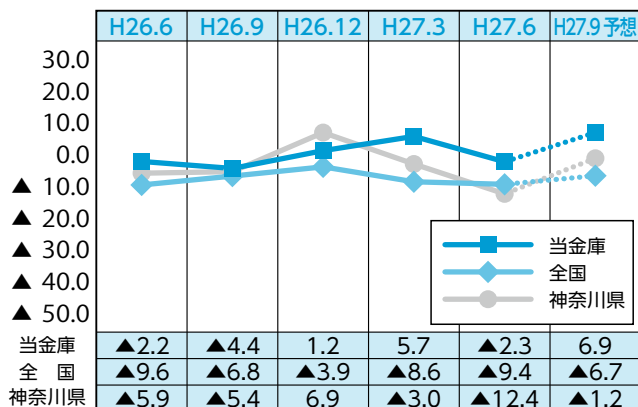
項目別では、売上額D.I.は14.7ポイント悪化の▲3.4、収益D.I.は13.6ポイント悪化の▲10.2となっております。大型連休により生産活動が一時的に弱まった影響が業況判断の悪化に影響しているものと思われます。しかし、総体的には、賃上げを実施している企業や受注増加による設備投資の実施を検討している企業も増加しており業況は回復傾向だと思われま

す。また、原材料価格D.I.は14.8ポイント上昇感が弱まり22.7と原材料高を課題としている企業は減少してきております。

なお、全国は0.8ポイント悪化の▲9.4となっており、神奈川県は9.4ポイント悪化の▲12.4となっております。

来期の予想業況判断については、9.2ポイント改善の6.9となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	34.0	43.3	22.7	D.I. 11.3
当期実績	25.0	46.6	28.4	▲3.4
来期予想	31.8	54.6	13.6	18.2
前年同期比	35.2	41.0	23.8	11.4

販売価格

前期実績	4.5	88.7	6.8	D.I. ▲2.3
当期実績	4.5	92.1	3.4	1.1
来期予想	2.2	93.3	4.5	▲2.3

在庫

前期実績	6.8	92.1	1.1	D.I. 5.7
当期実績	5.6	92.2	2.2	3.4
来期予想	3.4	95.5	1.1	2.3

人手

前期実績	11.3	68.3	20.4	D.I. ▲9.1
当期実績	12.5	67.1	20.4	▲7.9
来期予想	10.2	69.4	20.4	▲10.2

収益

前期実績	28.4	46.6	25.0	D.I. 3.4
当期実績	20.4	49.0	30.6	▲10.2
来期予想	26.1	60.3	13.6	12.5
前年同期比	30.6	44.4	25.0	5.6

原材料価格

前期実績	37.5	62.5		D.I. 37.5
当期実績	23.8	75.1	1.1	22.7
来期予想	13.6	85.3	1.1	12.5

資金繰り

前期実績	15.9	62.6	21.5	D.I. ▲5.6
当期実績	13.6	66.0	20.4	▲6.8
来期予想	9.0	69.5	21.5	▲12.5

設備状況

前期実績	5.8	76.6	17.6	D.I. ▲11.8
当期実績	4.5	70.3	25.2	▲20.7
来期予想	3.4	71.1	25.5	▲22.1

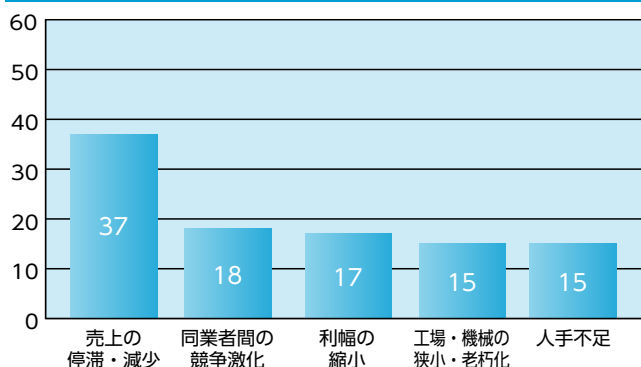
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

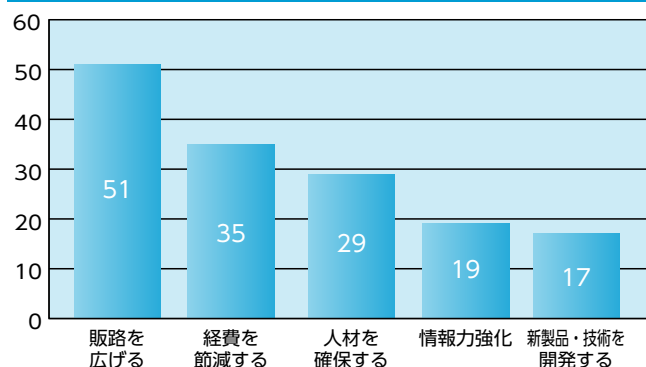
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸 売 業

概 況

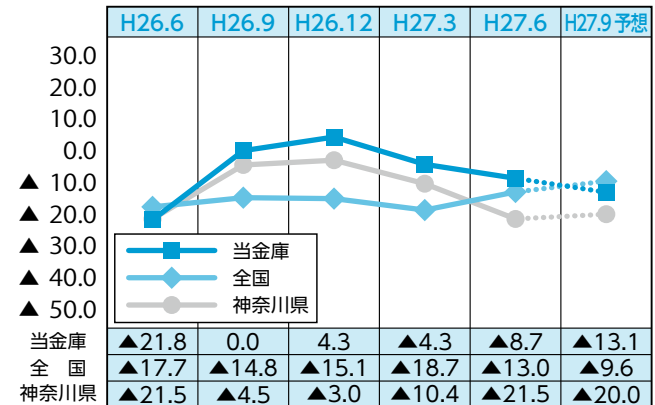
卸売業の業況判断D.I.は前回調査比4.4ポイント悪化の▲8.7となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回21.8ポイント悪化の▲17.4、収益D.I.は21.7ポイント悪化の▲17.4、資金繰りD.I.は13.0ポイント改善の▲4.4、仕入価格D.I.は4.4ポイント上昇の34.8となっております。依然として、円安を起因とする仕入価格の高騰が収益を圧迫しており、経営上の問題点として為替レートの変動をあげている企業も増加している等、更なる仕入価格高騰を不安視していると思われます。

なお、全国は5.7ポイント改善の▲13.0となっており、神奈川県は11.1ポイント悪化の▲21.5となっております。

来期の予想業況判断については、4.4ポイント悪化の▲13.1となっております。

業況判断D.I.値



売 上 額

前期実績	30.4	43.6	26.0	D.I. 4.4
当期実績	17.3	48.0	34.7	▲17.4
来期予想	17.3	61.0	21.7	▲4.4
前年同期比	30.4	39.2	30.4	0.0

販 売 価 格

前期実績	8.6	82.8	8.6	D.I. 0.0
当期実績	21.7	74.0	4.3	17.4
来期予想	4.3	91.4	4.3	0.0

在 庫

前期実績	17.3	74.1	8.6	D.I. 8.7
当期実績	13.0	82.7	4.3	8.7
来期予想	4.3	91.4	4.3	0.0

人 手

前期実績	4.3	61.0	34.7	D.I. ▲30.4
当期実績	4.3	78.4	17.3	▲13.0
来期予想	4.3	74.0	21.7	▲17.4

収 益

前期実績	26.0	52.3	21.7	D.I. 4.3
当期実績	13.0	56.6	30.4	▲17.4
来期予想	13.0	69.7	17.3	▲4.3
前年同期比	21.7	61.0	17.3	4.4

仕 入 価 格

前期実績	30.4	69.6		D.I. 30.4
当期実績	39.1	56.6	4.3	34.8
来期予想	17.3	78.4	4.3	13.0

資 金 繰 り

前期実績	4.3	74.0	21.7	D.I. ▲17.4
当期実績	8.6	78.4	13.0	▲4.4
来期予想		78.3	21.7	▲21.7

設 備 状 況

前期実績	86.4	13.6		D.I. ▲13.6
当期実績	81.9	18.1		▲18.1
来期予想	4.5	81.9	13.6	▲9.1

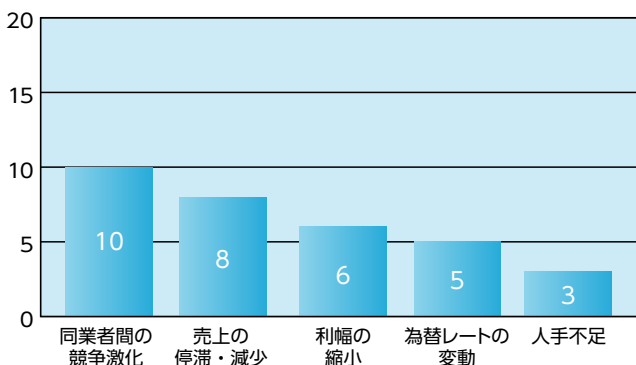
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

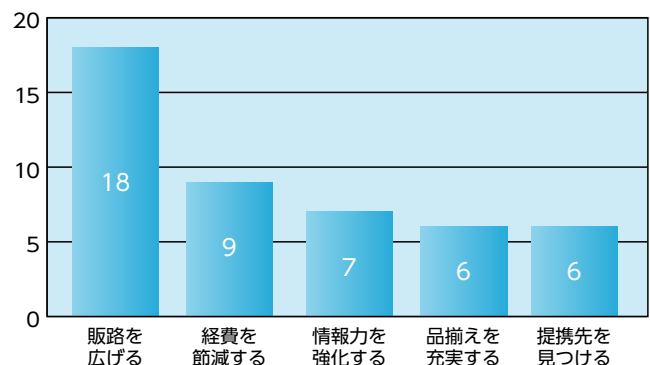
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

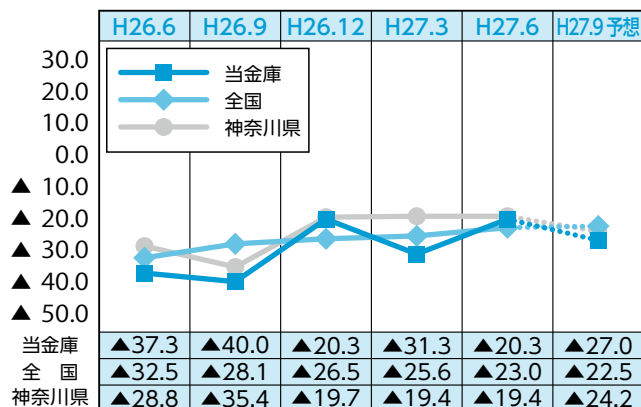
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 11.0 ポイント改善の▲20.3 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13.9 ポイント改善の▲10.8、収益 D.I. は 16.9 ポイント改善の▲15.4、資金繰り D.I. は横ばいの▲27.7 となっております。賃金上昇や夏のボーナスへの期待、株価上昇等が消費者の購買意欲を少しずつ高める動きがあるが、依然として円安による原材料高騰が影響しており、当面の重点経営施策として仕入先の開拓・選別をあげている企業が増加しております。

なお、全国は 2.6 ポイント改善の▲23.0、神奈川県は横ばいの▲19.4 となっております。

来期の予想業況判断については、6.7 ポイント悪化の▲27.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	15.3	44.7	40.0	D.I. ▲24.7
当期実績	26.1	37.0	36.9	▲10.8
来期予想	16.9	53.9	29.2	▲12.3
前年同期比	21.5	43.2	35.3	▲13.8

販売価格

前期実績	12.3	81.6	6.1	D.I. 6.2
当期実績	18.4	74.0	7.6	10.8
来期予想	15.3	83.2	1.5	13.8

在庫

前期実績	15.3	78.6	6.1	D.I. 9.2
当期実績	15.3	80.1	4.6	10.7
来期予想	13.8	81.6	4.6	9.2

人手

前期実績	4.6	64.7	30.7	D.I. ▲26.1
当期実績	9.5	49.3	41.2	▲31.7
来期予想	9.5	57.2	33.3	▲23.8

収益

前期実績	13.8	40.1	46.1	D.I. ▲32.3
当期実績	18.4	47.8	33.8	▲15.4
来期予想	18.4	52.4	29.2	▲10.8
前年同期比	21.5	44.7	33.8	▲12.3

仕入価格

前期実績	41.5	57.0	1.5	D.I. 40.0
当期実績	47.6	47.8	4.6	43.0
来期予想	33.8	64.7	1.5	32.3

資金繰り

前期実績	6.1	60.1	33.8	D.I. ▲27.7
当期実績	6.1	60.1	33.8	▲27.7
来期予想	7.6	63.2	29.2	▲21.6

設備状況

前期実績	4.6	81.6	13.8	D.I. ▲9.2
当期実績	1.5	82.9	15.6	▲14.1
来期予想	1.5	84.3	14.2	▲12.7

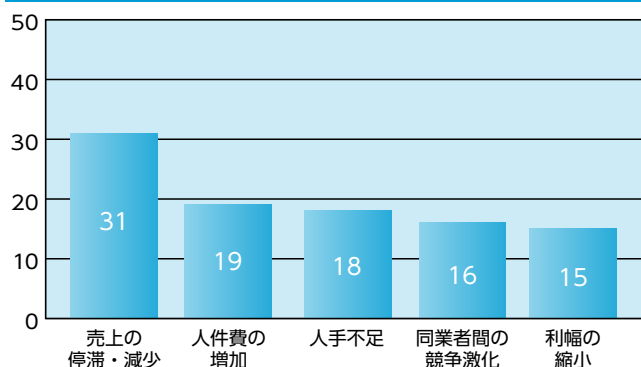
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

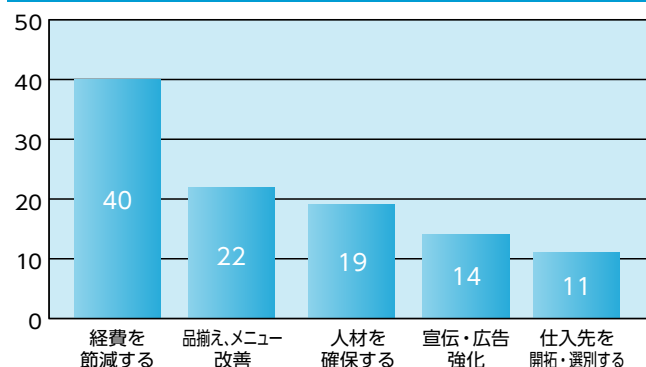
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

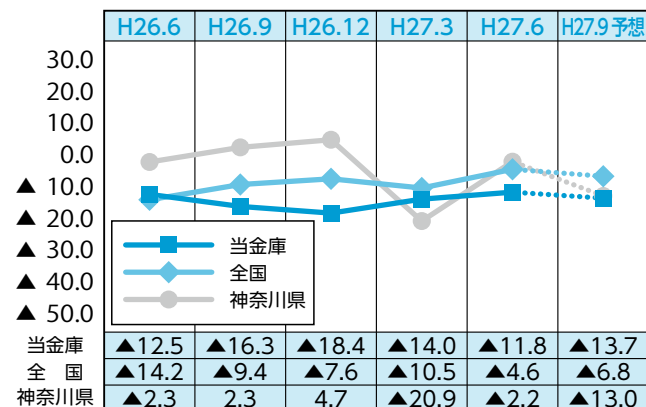
サービス業の業況判断D.I.は前回調査比2.2ポイント改善の▲11.8となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回調査比11.6ポイント改善の17.7、収益D.I.は6.1ポイント改善の0.0となっております。これは大型連休やクリーニング業における衣替えの季節的要因、ガソリン価格の下落等により、売上・収益D.I.がプラスに転じたことが業況改善に繋がったものと思われます。一部企業においてはHPのリニューアル等を行い新規顧客の獲得に努める企業もあり、サービス向上に努めている企業も見受けられます。しかしながら、依然として、経営上の問題点として、売上の停滞・減少、人手不足があげられており厳しい状況が続いております。

なお、全国は5.9ポイント改善の▲4.6となっており、神奈川県は18.7ポイント改善の▲2.2となっております。

来期の予想業況判断については、1.9ポイント悪化の▲13.7となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	34.6	36.9	28.5	D.I. 6.1
当期実績	43.1	31.5	25.4	17.7
来期予想	29.4	51.0	19.6	9.8
前年同期比	46.0	30.0	24.0	22.0

料金価格

前期実績	8.1	83.8	8.1	D.I. 0.0
当期実績	5.8	88.4	5.8	0.0
来期予想	3.9	92.2	3.9	0.0

資金繰り

前期実績	6.1	59.3	34.6	D.I. ▲28.5
当期実績	3.9	68.7	27.4	▲23.5
来期予想	3.9	68.7	27.4	▲23.5

設備状況

前期実績	6.1	69.5	24.4	D.I. ▲18.3
当期実績	5.8	72.7	21.5	▲15.7
来期予想	5.8	68.8	25.4	▲19.6

収益

前期実績	26.5	40.9	32.6	D.I. ▲6.1
当期実績	29.4	41.2	29.4	0.0
来期予想	23.5	53.0	23.5	0.0
前年同期比	40.0	32.0	28.0	12.0

材料価格

前期実績	27.0	62.6	10.4	D.I. 16.6
当期実績	21.5	74.6	3.9	17.6
来期予想	21.5	78.5		21.5

人手

前期実績	10.0	56.0	34.0	D.I. ▲24.0
当期実績	7.8	58.9	33.3	▲25.5
来期予想	5.8	57.0	37.2	▲31.4

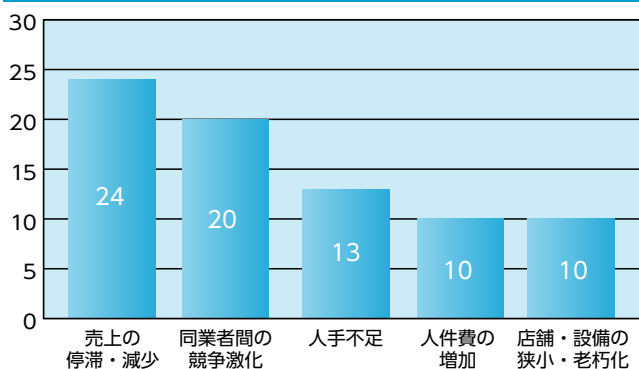
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

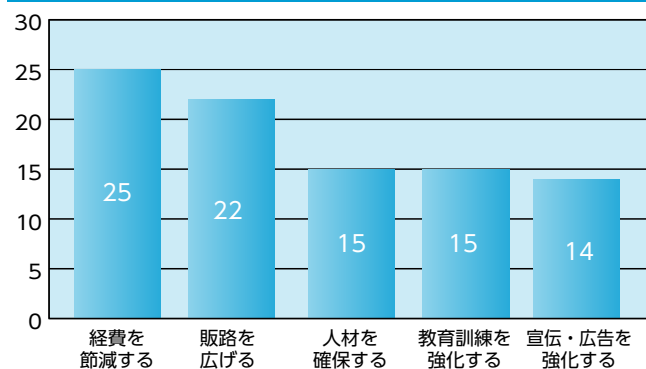
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

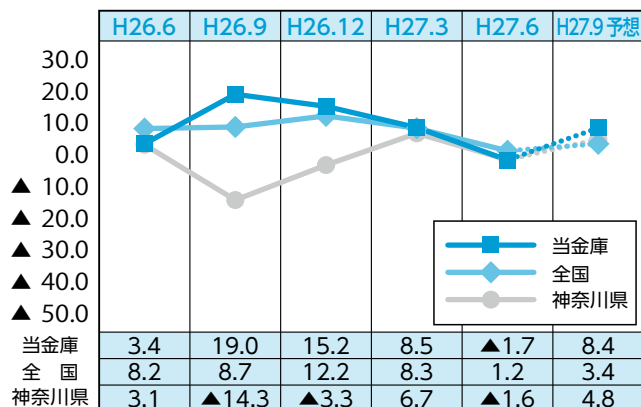
建設業の業況判断D.I.は前回調査比10.2ポイント悪化の▲1.7となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回調査比から25.2ポイント悪化の▲16.7、収益D.I.は14.9ポイント悪化の▲20.0となっております。行政側の発注体制が整わない4～6月の公共工事の受注減少や住宅着工戸数が伸びないことが業況悪化を招いたものと思われます。また、依然として、経営上の問題点として円安に伴う建築資材の高騰や人手不足を課題としており、一部の企業においては人材確保の為、賃上げを実施した企業が見受けられ、建設業界の人手不足の課題は深刻であります。

なお、全国は7.1ポイント悪化の1.2となっており、神奈川県は8.3ポイント悪化の▲1.6となっております。

来期の予想業況判断については、10.1ポイント改善の8.4となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	32.2	44.1	23.7	D.I. 8.5
当期実績	16.6	50.1	33.3	▲16.7
来期予想	35.0	46.7	18.3	16.7
前年同期比	28.3	45.1	26.6	1.7

請負価格

前期実績	23.7	66.2	10.1	D.I. 13.6
当期実績	8.3	78.4	13.3	▲5.0
来期予想	16.6	76.8	6.6	10.0

在庫

前期実績	1.7	98.3		D.I. 1.7
当期実績	3.3	95.1	1.6	1.7
来期予想	3.3	95.1	1.6	1.7

人手

前期実績	59.4	40.6		D.I. ▲40.6
当期実績	6.6	61.8	31.6	▲25.0
来期予想	3.3	56.7	40.0	▲36.7

収益

前期実績	16.9	61.1	22.0	D.I. ▲5.1
当期実績	13.3	53.4	33.3	▲20.0
来期予想	26.6	65.1	8.3	18.3
前年同期比	20.0	51.7	28.3	▲8.3

材料価格

前期実績	57.6	42.4		D.I. 57.6
当期実績	31.6	68.4		31.6
来期予想	23.3	76.7		23.3

資金繰り

前期実績	8.4	66.2	25.4	D.I. ▲17.0
当期実績	11.6	70.1	18.3	▲6.7
来期予想	15.0	68.4	16.6	▲1.6

設備状況

前期実績	3.3	90.0	6.7	D.I. ▲3.4
当期実績	3.3	91.7	5.0	▲1.7
来期予想	1.7	93.2	5.1	▲3.4

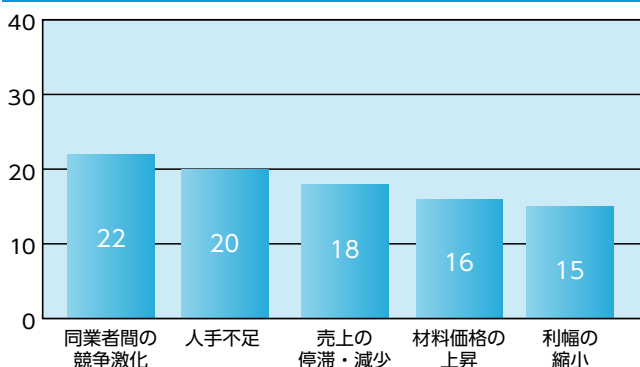
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

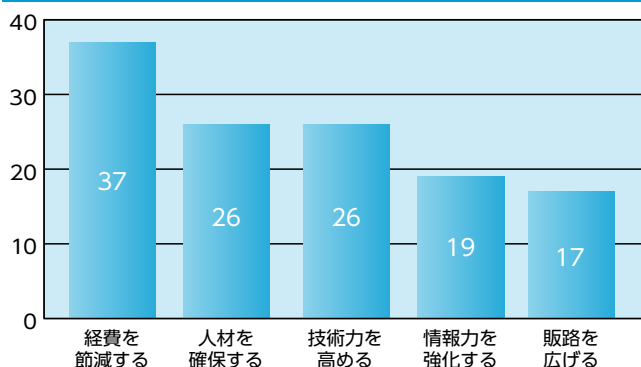
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

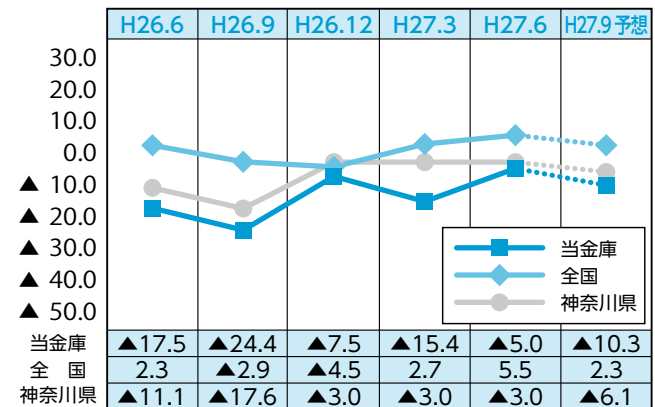
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.4 ポイント改善の ▲5.0 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 0.2 ポイント改善の ▲5.0、収益 D.I. は 7.5 ポイント悪化の ▲7.5 となっております。依然として、商品物件の不足、利幅の縮小が課題となっており、秦野・伊勢原地区は物件の動きが鈍いことから、県央地区や湘南地区に物件を求めていく動きや、利幅の良い商品や良質な物件を求め慎重になっている企業も多くなっております。また、一部企業においては、不動産の動きが活発になってきていると感じている企業や 2017 年 4 月に予定されている消費税増税に向けた駆け込み需要に対応する体制作りを検討している企業も見受けられます。

なお、全国は 2.8 ポイント改善の 5.5 となっており、神奈川県は横ばいの ▲3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、5.3 ポイント悪化の ▲10.3 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	15.3	64.2	20.5	D.I. ▲5.2
当期実績	17.5	60.0	22.5	▲5.0
来期予想	20.5	61.6	17.9	2.6
前年同期比	17.5	50.0	32.5	▲15.0

販売価格

前期実績	5.1	74.4	20.5	D.I. ▲15.4
当期実績	5.0	67.5	27.5	▲22.5
来期予想	2.5	77.0	20.5	▲18.0

在庫

前期実績	10.2	71.9	17.9	D.I. ▲7.7
当期実績	12.5	62.5	25.0	▲12.5
来期予想	12.8	64.2	23.0	▲10.2

人手

前期実績	92.2	7.8		D.I. ▲7.8
当期実績	2.5	92.5	5.0	▲2.5
来期予想	2.5	89.9	7.6	▲5.1

収益

前期実績	12.8	74.4	12.8	D.I. 0.0
当期実績	15.0	62.5	22.5	▲7.5
来期予想	12.8	64.2	23.0	▲10.2
前年同期比	17.5	52.5	30.0	▲12.5

仕入価格

前期実績	5.1	84.7	10.2	D.I. ▲5.1
当期実績	10.0	70.0	20.0	▲10.0
来期予想	7.6	77.1	15.3	▲7.7

資金繰り

前期実績	5.1	79.6	15.3	D.I. ▲10.2
当期実績	12.5	72.5	15.0	▲2.5
来期予想	7.6	77.1	15.3	▲7.7

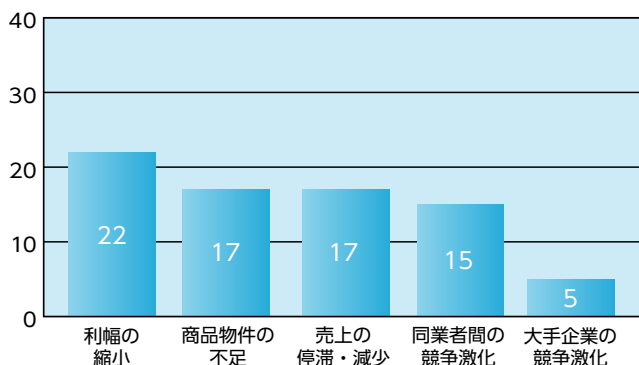
当期実績…27年 4～ 6月期
来期予想…27年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

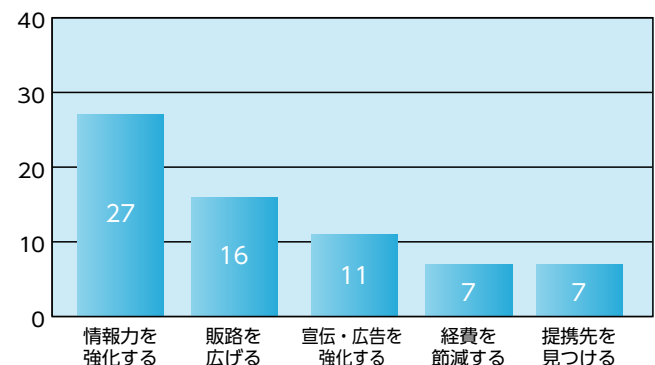
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 334 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、1 つお答えください。
また、賃上げを実施しなかった場合、その理由について 1 つお答えください。

賃上げを実施した理由

1. 政府の賃上げ要請	4 社
2. 自社の業績改善を反映	21 社
3. 同業他社、地域他社の賃上げ	2 社
4. 従業員の待遇改善	74 社
5. その他	5 社

賃上げを実施しなかった理由

6. これまでに賃上げを実施済み	34 社
7. 景気見通しが不透明	59 社
8. 自社の業績	75 社
9. 賃上げを検討したことがない	42 社
0. その他	9 社

問 2. 貴社では、賃上げを実施する場合、どのような過程で決定しますか。

1 位 幹部間での協議	140 社	4 位 その他	16 社
2 位 代表者（代表取締役社長）1 人の判断	133 社	5 位 労働者組合との団体協議	3 社
3 位 従業員との個別協議	31 社		

問 3. 貴社では、通常、どのような条件が生じれば、賃上げを実施したいと思いますか。3 つ以内でお答えください。

1 位 自社の業況の改善	249 社	6 位 取引条件の改善（価格転嫁等）	31 社
2 位 従業員の定着・士気高揚の必要性増大	112 社	7 位 人材獲得競争の激化	28 社
3 位 景気見通しの不透明感の払拭	102 社	8 位 助成金・補助金・優遇税制などの拡充	25 社
4 位 同業種の賃金相場の改善	41 社	9 位 同地域の賃金相場の改善	16 社
5 位 最低賃金法上の最低賃金の上乗せ改定	32 社	10 位 その他	8 社

問 4. 貴社では、どのような状況になれば、より積極的な正社員採用をしようと思いますか。3 つ以内でお答えください。

1 位 自社の業況の改善	209 社	6 位 そもそも積極的な正社員採用を行うつもりはない	35 社
2 位 欠員の発生	130 社	7 位 雇用助成金・補助金・優遇税制などの拡充	22 社
3 位 従業員の高齢化の進行	89 社	8 位 金融機関の融資面での各種優遇条件の拡充	7 社
4 位 景気見通しの不透明感の払拭	82 社	8 位 他社の採用の積極化	7 社
5 位 新分野・新事業への進出	42 社	10 位 その他	3 社

問 5. 大手企業を中心に賃上げの動きが広がるなか、貴社では、人材の定着を図るため、どのような対応が必要だとお考えですか。3 つ以内でお答えください。

1 位 働きやすい職場環境づくり	205 社	6 位 社内イベント（社員旅行等）の開催	24 社
2 位 給与面の待遇改善	183 社	7 位 自社の知名度の向上（PR 活動）	23 社
3 位 自社の業務の魅力向上	89 社	8 位 社内研修制度の充実・魅力向上	18 社
4 位 給与面以外の福利厚生面の待遇改善	71 社	9 位 非正規雇用（パート・派遣）の正規雇用化	14 社
5 位 特に対応の必要性を感じていない	38 社	10 位 その他	1 社

経営のポイント!

『自社の決算書を見直そう! ①』

決算書は 1 年に 1 度の会社の健康診断書です。決算書のうちまずは損益計算書について見ていきましょう。

【売上高】

損益計算書の中で最も上に記載されている最も大きな計数です。この計数を大きくするために日々努力をされていることと思います。しかしながら、中々大きくならないのが現実であります。それでは、どのようにすれば大きくなるのでしょうか。

※方法は 4 つしかありません。

- ①(来店)顧客数を増やす …… 新規顧客を獲得する
- ②来店、購買頻度を上げる …… 既存客の来店、購買頻度を上げるよう促す
- ③買い上げ点数を増やす …… 顧客が 1 回に買う（発注する）商品・製品数を増やす
- ④商品単価を上げる …… 付加価値を上げて商品単価を引き上げる

損益計算書	
自 平成〇〇年〇月〇日	
至 平成〇〇年〇月〇日	
売上高	〇〇〇
売上原価	〇〇〇
売上総利益	〇〇〇
販売費および一般管理費	〇〇〇
営業利益	〇〇〇
営業外収益	
受取利息	〇〇〇
営業外費用	
支払利息	〇〇〇
経常利益	〇〇〇
特別利益	
固定資産売却益	〇〇〇
特別損失	
固定資産売却損	〇〇〇
税引前当期純利益	〇〇〇
法人税および事業税	〇〇〇
当期純利益	〇〇〇

具体的な方法は、企業ごとに異なります。詳しく知りたい方はお気軽にご相談ください。

(次号につづく)